

令和3年度 原宿地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

昨年のコロナウイルス感染症拡大により、地域活動が縮小され、子どもから高齢者において、体力の低下、居場所の喪失等が大きな影響をもたらしている。今年度はICT等を活用し「新たな交流の場」、新しい生活様式に合わせた地域づくりができるように、町内会・自治会、各種団体と連携を行い支援を行っていく事が求められている。

高齢化の進行に加え、家族介護力の脆弱化、かかわりの希薄化も進み、特に認知症により理解力・判断力が低下した利用者やその家族への対応については、個々のケースに対し臨機応変に行っていくことが求められている。そのような中で国や自治体による公助のみに頼ることの限界を考えると、地域での共助について住民の理解を得ていくことが大切だと思われる。住民一人ひとりの自助努力や備え、地域住民による共助を実現するための働きかけに関係機関と協力し取り組んでいく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	区と協働し、元気づくりステーションの活動継続ができるよう担い手の方々の支援を行っていくと共に、新たな参加者獲得のための周知を行っていく。 <input checked="" type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症流行により、休止と活動を繰り返す介護予防活動グループに対しては、会の意向を確認しながら活動再開への支援を行っていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域活動から見えてきたコロナ禍における課題解決に向けて、地域と専門職、学校等が情報共有・連携し、新たな居場所や交流・活動の場の創出(再開)を行っていく。また、ICT等を活用し施設職員の継続した参加を促していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	居宅介護支援事業所連絡会・生活支援交流会を開催し、ケアマネジャーと地域のインフォーマルサービス組織や関係者等が顔合わせ・情報交換等が出来る場を確保する。各種連絡会に参加しにくい環境にある小規模事業所(1人ケアマネ)に適切な情報提供を行う。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・区と協働し、地域に2カ所ある元気づくりステーションの活動が継続できるよう支援は行っている。コロナ禍でもあり、新たな参加者獲得のための周知は積極的には行えていないが、町内会だよりに開催予定を掲載しており、新たな参加者が数名増えた。引き続き次年度以降も継続支援を行っていく必要がある。

・今年度も集合形式での会議等は難しかったが、ICT等を活用した事により、コロナ禍で見えてきた地域課題解決に向けて地域・専門職・学校等で情報共有を行うことが出来た。また、地域住民や関係機関が連携を行うことにより、徐々にではあるが、地域住民同士の交流・活動の場の創出(再開)につなげることが出来ている。次年度以降もコロナとの共生を考え、今まで構築してきたネットワークを活かして地域の課題解決に向けた支援を行っていく必要がある。

・コロナウイルス感染予防対策を行い、居宅介護支援事業所連絡会・研修会を包括支援センターと生活支援交流会が合同で開催し、地域のインフォーマルサービス(コミュニティーサロン情報・サービスB補助事業等)の情報提供、情報共有する場を設けることができた。小規模事業所(1人ケアマネ)には各研修等の情報提供を行った。コロナウイルスまん延時に研修の実施方法や連絡手段(ICTなど)を整備していく必要がある。

区からのコメント

今年度も長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小・中止や感染症対策を講じながらの貸館・相談業務など柔軟な対応が求められる中、地域に寄り添った施設運営をしていただきました。

地域ケアプラザの場を生かした取組では、住民のニーズを踏まえた事業を実施したことに加え、事業への参加者をボランティア活動や自主的活動につなげるなど、地域活動の継続・発展に向けて工夫して取り組んでいただきました。相談・支援の取組では、5職種会議の中でそれぞれの職種が得た情報を共有してアセスメントシートを更新し、自治会町内会や民生委員の会議の場で地域課題を共有するなど、安心して暮らすことのできるまちづくりに向けて目指す方向性が共有されています。

少子高齢化をはじめとした社会状況の変化を背景に地域ニーズ・生活スタイルが複雑・多様化する中で、今年度からスタートした第4期とつかハートプランは、区民や事業者、区役所、区社協、地域ケアプラザなどの協働により、「誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現」を目指しています。引き続き、地域ケアプラザの強みとなる専門性を発揮する縦方向の支援と職種を越えて連携する横方向の支援に、区役所や区社会福祉協議会などの関係機関との連携を織り交ぜながら、地域に根差した施設運営を行ってください。

令和3年度原宿地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	①自主事業や貸館の申し込み等は、横浜市地域ケアプラザ施設利用マニュアルに準拠した社内ルールを設け、公正・中立に行うように努める。 ②居宅介護支援事業所にケアプランを作成依頼する際及び地域包括支援センターから予防プラン・介護予防ケアマネジメントを委託する際に、特定の事業所に偏らないようにする。	倫理・サービス、事故防止や個人情報保護について研修を実施する。 ヒヤリハットや事故が起きた際には、記録にとどめ、当日のうちに事故原因を検証し、具体的な予防策をたてて、再発防止に努める。
実績	①自主事業や貸館の申し込み等は、横浜市地域ケアプラザ施設利用マニュアルに準拠した社内ルールを設け、公正・中立に行うように努めた。また、自主事業や貸館の申込方法については、広報紙・SNS(Twitter・HP・Facebook)などを活用し地域住民への周知も行った。 ②居宅介護支援事業所でケアプランを作成する際及び地域包括支援センターから予防プラン・介護予防ケアマネジメントを委託する際、「ハートページ」「戸塚区内居宅支援事業者ケアプラン対応可能件数一覧表」を活用し、特定の事業所に偏らないように努めた。	職場研修において、倫理・サービスや個人情報保護等の研修を実施。(コロナ禍のため外部研修は参加せず)各部署会議や全体会議等で事故について対策も含め状況報告をし、職場全体で事故防止に取り組む姿勢をもつようにした。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者の心身機能の改善だけでなく、地域の中で生きがいや役割を持って生活できるよう、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするケアマネジメントができています。	安定経営を最優先として、令和3年度の介護保険法改正に対応しながら、コロナ禍においても、住み慣れた地域でその人らしく、自立した生活を送ることができるよう、感染予防をしながら、地域の方々、介護・医療・福祉等の各関係機関と連携し、利用者の意向に沿ったケアプランを立案しケアマネジメントを行っていく。
利用料金・実費負担	利用者の負担はなし。	利用者の負担はなし。
職員体制	地域包括支援センター三職種4名 介護予防支援事業所担当職員1名	居宅介護支援事業所管理者1名(常勤兼務) 主任介護支援専門員1名(常勤専従) 介護支援専門員3名(うち常勤兼務1名、常勤専従2名)
契約者数	要支援1 97名 要支援2 126名 合計 223名	要介護1 33名、要介護2 44名、要介護3 8名 要介護4 17名、要介護5 8名、合計 110名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	住み慣れた地域、在宅において、安全に暮らしていけるよう、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を実施し、在宅生活の継続に資する活動を年間で継続して取り組み支援していく。	役割を持つことによって認知症の進行を緩和し、生活機能を維持向上し、住み慣れた地域、在宅での生活を可能な限り継続できるように支援していく。	
実施体制	【実施日数】 週6日 【提供時間】 9時25分～16時25分 【定員】 40名	【実施日数】 週2日 【提供時間】 9時25分～16時25分 【定員】 8名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	【通所介護】1割負担分 (要介護1) 703円(要介護2) 829円(要介護3) 961円(要介護4) 1,092円(要介護5) 1,225円 ・食費負担800円、入浴介助加算(Ⅰ)43円/回、サービス提供体制強化加算(Ⅱ)20円/回、中重度者ケア体制加算49円/回、認知症加算65円/回、科学的介護推進体制加算43円/月、同一建物居住者の送迎についての減算△101円/日、送迎減算(片道)/△51円 【第一号通所事業】1割負担分 (要支援1)1,793円(要支援2・週1回程度)1,793円(要支援2・週2回程度)3,675円 ・食費負担800円、サービス提供体制強化加算(Ⅱ)要支援1:78円/月 要支援2(週1回程度利用):78円/月 要支援2(週2回程度利用):155円/月、科学的介護推進体制加算43円/月、同一建物居住者の送迎についての減算 要支援1:△403円/月 要支援2(週1回程度利用):△403円/月 要支援2(週2回程度利用):△807円/月 【共通】 ・介護職員処遇改善加算(Ⅰ)1ヶ月の総単位数に5.9%を乗じた単位数(利用者毎に異なる) ・介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ)1ヶ月の総単位数に1.2%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)	【認知症対応型通所介護】 1割負担分(要介護1) 1,080円(要介護2) 1,197円(要介護3) 1,315円(要介護4) 1,432円(要介護5) 1,550円 ・食費負担800円、入浴介助加算(Ⅰ)44円/回、サービス提供体制強化加算(Ⅱ)20円/回、科学的介護推進体制加算44円/月、同一建物居住者の送迎についての減算△103円/日、送迎減算(片道)/△52円 ・介護職員処遇改善加算(Ⅰ)1ヶ月の総単位数に10.4%を乗じた単位数(利用者毎に異なる) ・介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ)1ヶ月の総単位数に3.1%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)	
職員体制	管理者1名(常勤兼務) 生活相談員7名(常勤兼務1名 常勤介護職兼務6名) 看護職員5名(非常勤兼務・機能訓練指導員兼務) 介護職員14名(常勤兼務8名 うち生活相談員兼務6名 非常勤兼務6名) 調理職員6名(常勤1名・非常勤5名) 運転手2名(非常勤)	管理者1名(常勤兼務) 生活相談員7名(常勤兼務1名 常勤介護職兼務6名) 看護職員5名(非常勤兼務・機能訓練指導員兼務) 介護職員14名(常勤兼務8名 うち生活相談員兼務6名 非常勤兼務6名) 調理職員6名(常勤1名・非常勤5名) 運転手2名(非常勤)	
契約者数等	【延べ利用者数】9,733名 【契約者数】85名	【延べ利用者数】131名 【契約者数】3名	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「横浜市原宿地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,609,000		16,609,000	16,625,270	△ 16,270	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	9,800	△ 9,800	
雑入	0	0	0	15,594	△ 15,594	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	15,594	△ 15,594	
その他			0	0	0	
その他	4,294,365		4,294,365	2,800,302	1,494,063	
収入合計	20,903,365	0	20,903,365	19,450,966	1,452,399	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,070,492	0	12,070,492	12,098,775	△ 28,283	
本俸	7,713,000		7,713,000	7,482,752	230,248	
社会保険料	1,101,000		1,101,000	1,178,921	△ 77,921	
手当計	2,902,492		2,902,492	3,094,325	△ 191,833	
健康診断費	59,000		59,000	43,924	15,076	
勤労者福祉共済掛金	151,000		151,000	150,188	812	
退職給付引当金繰入額	126,000		126,000	128,790	△ 2,790	
その他	18,000		18,000	19,875	△ 1,875	インフルエンザ予防接種代
事務費	2,092,469	0	2,092,469	1,470,829	621,640	
旅費	43,000		43,000	16,660	26,340	打合せ、会議等参加交通費
消耗品費	406,000		406,000	255,652	150,348	事務用品、コピー用紙、OA消耗品、日用品等
会議賄い費	0		0	23,460	△ 23,460	運営協議会開催費用
印刷製本費	96,000		96,000	82,406	13,594	コピーカウント・名刺・年賀状印刷代
通信費	379,000		379,000	389,921	△ 10,921	電話、インターネット回線使用料、切手、DM便
使用料及び賃借料	0	0	0	21,120	△ 21,120	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	21,120	△ 21,120	自動販売機目的外使用料
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	49,500	△ 49,500	電話機
図書購入費	43,000		43,000	46,242	△ 3,242	新聞
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	3,000		3,000	0	3,000	研修参加費
振込手数料	9,000		9,000	7,104	1,896	振込手数料
リース料	28,000		28,000	32,834	△ 4,834	玄関マット、印刷機レンタル代
手数料	45,000		45,000	21,378	23,622	OA銀行、社労士顧問料
地域協力費	8,000		8,000	2,026	5,974	来客用お茶代
その他	1,032,469		1,032,469	522,526	509,943	監査報酬、OA保守料、諸会費等
事業費	316,426	0	316,426	13,249	303,177	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	274,426		274,426	13,249	261,177	自主事業費
その他	0		0	0	0	
管理費	5,949,978	0	5,949,978	4,510,051	1,439,927	
光熱水費	3,873,978		3,873,978	2,389,243	1,484,735	
清掃費	1,080,000		1,080,000	1,079,370	630	施設日常清掃業務等
機械警備費	85,000		85,000	84,676	324	施設警備
設備保全費	911,000	0	911,000	956,762	△ 45,762	
空調衛生設備保守	161,000		161,000	160,592	408	空調機点検・フィルター清掃
消防設備保守	78,000		78,000	77,863	137	消防設備点検
電気設備保守	98,000		98,000	97,943	57	電気設備点検・清掃
害虫駆除清掃保守	24,000		24,000	23,359	641	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	550,000		550,000	597,005	△ 47,005	冷温水発生機・自動ドア等点検・受水槽管理、塵芥処理
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
修繕費	474,000		474,000	486,858	△ 12,858	予算：指定額
公租公課	0	0	0	871,204	△ 871,204	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	871,204	△ 871,204	消費税
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
支出合計	20,903,365	0	20,903,365	19,450,966	1,452,399	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	10,000	0	10,000	9,800	200	
自主事業費 支出	10,000	0	10,000	13,249	△ 3,249	
自主事業 収支	0	0	0	△ 3,449	3,449	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	15,594	△ 15,594	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	21,120	△ 21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	△ 5,526	5,526	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度「横浜市原宿地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,590,000		29,590,000	29,170,000	420,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	30,400	△ 30,400	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			157,766	0	157,766	
雑入	0	0	0	2,660	△ 2,660	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	2,660	△ 2,660	区社協研修参加費・振込手数料
その他	157,766		157,766	0	157,766	
収入合計	35,703,766	0	35,703,766	35,159,060	544,706	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,879,173	0	30,879,173	30,445,162	434,011	
本俸	17,139,000		17,139,000	16,876,710	262,290	
社会保険料	3,984,000		3,984,000	4,158,348	△ 174,348	
手当計	8,544,173		8,544,173	8,202,468	341,705	
健康診断費	39,000		39,000	47,019	△ 8,019	
勤労者福祉共済掛金	718,000		718,000	717,562	438	
退職給付引当金繰入額	429,000		429,000	424,530	4,470	
その他	26,000		26,000	18,525	7,475	インフルエンザ予防接種代
事務費	2,024,564	0	2,024,564	1,414,814	609,750	
旅費	106,000		106,000	30,760	75,240	打合せ、会議等参加交通費
消耗品費	316,000		316,000	179,189	136,811	事務用品、コピー用紙、OA消耗品、日用品
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	133,000		133,000	91,876	41,124	コピーカウント、名刺・年賀状印刷代
通信費	344,000		344,000	427,992	△ 83,992	電話、インターネット回線使用料、切手、DM
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	0	0	
職員等研修費	16,000		16,000	5,000	11,000	研修参加費
振込手数料	10,000		10,000	8,424	1,576	振込手数料
リース料	28,000		28,000	32,834	△ 4,834	玄関マット、印刷機レンタル代
手数料	45,000		45,000	22,830	22,170	OA銀行、社労士顧問料
地域協力費	6,000		6,000	0	6,000	来客用お茶代
その他	1,020,564		1,020,564	615,909	404,655	監査報酬、OA保守料、諸会費等
事業費	1,092,593	0	1,092,593	436,826	655,767	
協力医	630,000		630,000	210,000	420,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	258,593		258,593	67,100	191,493	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	153,360	640	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	50,000		50,000	6,366	43,634	予算：指定額
その他			0	0	0	
管理費	1,581,436	0	1,581,436	1,198,865	382,571	
光熱水費	929,436		929,436	635,115	294,321	
清掃費	287,000		287,000	286,919	81	施設日常清掃業務等
機械警備費	23,000		23,000	22,508	492	施設警備
設備保全費	342,000	0	342,000	254,323	87,677	
空調衛生設備保守	43,000		43,000	42,688	312	空調機点検・フィルター清掃
消防設備保守	21,000		21,000	20,697	303	消防設備点検
電気設備保守	27,000		27,000	26,035	965	電気設備点検・清掃
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	6,209	791	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	244,000		244,000	158,694	85,306	冷温水発生機・自動ドア等点検・受水槽管理、塵芥処理
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
修繕費	126,000		126,000	129,412	△ 3,412	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	35,703,766	0	35,703,766	33,625,079	2,078,687	
差引	0	0	0	1,533,981	△ 1,533,981	

自主事業費 収入	10,000	0	10,000	30,400	△ 20,400	
自主事業費 支出	10,000	0	10,000	226,826	△ 216,826	
自主事業 収支	0	0	0	△ 196,426	196,426	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市原宿地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入				12,690	11,721	969	24,698	24,466	232	80,133	84,670	-4,537	6,510	4,542	1,968
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,174	21,307	-2,133	755	556	199
	事業・負担金収入			0			0			0	18,028	19,912	-1,884	755	556	199
	受取利息配当金収入			0			0			0	1	1	0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	1,145	1,394	-249			0
	収入合計(A)	0	0	0	12,690	11,721	969	24,698	24,466	232	99,307	105,977	-6,670	7,265	5,098	2,167
支出	人件費			0			0	20,162	19,486	676	70,634	73,041	-2,407	7,265	5,098	2,167
	事務費			0			0	2,899	2,699	200	10,136	10,664	-528			0
	事業費			0			0	28	32	-4	15,631	14,681	950			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他			0	10,497	10,023	474	0	0	0	1,217	986	231	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0	72	0	72			0
	消費税			0		217	-217			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	10,497	9,806	691			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	1,145	986	159			0
	支出合計(B)	0	0	0	10,497	10,023	474	23,089	22,217	872	97,618	99,372	-1,754	7,265	5,098	2,167
	収支 (A)-(B)	0	0	0	2,193	1,698	495	1,609	2,249	-640	1,689	6,605	-4,916	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	大正プロジェクト	平成29年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がいのある子どもたちが、障害の有無に関わらず地域の人たちと関わりながら豊かに過ごせる活動の場、交流を通して、成長を見守ってくれる地域のサポーターを増やすこと。	2:障害児・者		現在隔月地区センターのお部屋をお借りし、大正小学校個別支援級在籍の子どもたちを対象にした居場所プロジェクトとして平成29年3月からスタートする。また、高齢者施設・障害者施設の職員、ボランティアなどと協力し開催している。 年9回予定 ※コロナウイルス感染拡大防止により、4月、5月、6月は中止	4	29
2	たいしょう食堂(食品配布会)	平成31年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の子供から高齢者が一緒に集い、食事をする場の提供により、地域の活性化(世代間交流)を目的として実施	5:地域		大正地区センターのお部屋をお借りし、大正地区の方を対象とした地域食堂を開催することとなった。今年度は年4回実施予定 ※コロナウイルス感染拡大の状況により実施していく	4	434
3	障がい学習会	平成30年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障害のあるこどもの保護者どうしの情報交換や研修を通し、地域に必要とするサービスなどの開発や関係機関とのネットワーク作りにつなげる。	2:障害児・者		障害のあるこどもたちがいきいきと個性を活かして地域になるにはとのことで意見交換。大正小学校の個別支援級在籍の児童を対象としてスタートしたが様々な課題が出てきているため今後検討することとなった。 年4回程度 12月はハイブリッド(ICT)形式にて実施。 ※コロナウイルス感染拡大防止のため5月、2月は中止	2	39
4	子育て連絡会	平成23年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援に関わる関係機関同士のネットワークの構築、ダブルケア、虐待防止などに対応していくため、子育て分野、高齢者支援分野との連携も目的としている。	3:養育者及び乳幼児		エリア内外で活動する子育て支援関係機関、当事者サークル、高齢者施設の皆さんと地域の現状と課題について意見交換を行った。 年3回程度 今年度はハイブリッド(ICT)形式にて連絡会を開催。次年度は地区社協との連携を進めていく予定。 ※コロナウイルス感染拡大防止のため6月は中止	2	41
5	おしゃべりカフェ	平成31年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域ケア会議などで、住民より地域の居場所が少しでも出来ればとのお声を多数頂いたため、今年度ケアプラザにてカフェをオープンすることとなった 新たなボランティアの担い手を創出させる狙い。	5:地域		地域の方ならばどなたさまでも参加できるカフェ 特にイベントなどは実施しないが、今度皆さまの声を確認しながら行っていく 原則毎月1回開催 ※コロナウイルス感染症拡大防止のため今年度は1回のみ開催。次年度も引き続き再開に向けて検討を行っていく。	1	22
6	傾聴ボランティア養成講座	平成24年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	独居の高齢者、日中独居の方、施設入所者、高齢者サロン、介護をしているご家族の方を対象にした傾聴活動ボランティアの育成を目的とする。	5:地域		シニアライフセラピー研究所の方を講師に3回の傾聴の基礎についてワークを中心に実施。戸塚区認知症キャラバンメイト連絡会の川原先生を講師に認知症サポーター養成講座、既存の傾聴グループの方にも参加していただき傾聴の活動の様子などの紹介。 8月9月開催予定していたが中止。次年度はオンラインを活用して開催していく予定。	0	0
7	うたごえサロン	令和元年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	現在、歌の自主グループが存在しているが、地域の方からも新たな歌の会の設立を希望され、新たに歌声サロンを開催することとなった。	1:高齢者		地域の方ならばどなたさまでも参加できるカフェ。今後参加者の中からボランティア等を募り、最終的には自主団体として立ち上げ出来るように支援していく。 原則毎月1回開催 コロナウイルス感染拡大防止のため今年度は開催できず。また、感染対策等が難しい為一旦閉会することとなった。	0	0
8	にこにこフリーマーケット	令和2年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て中の母親同士の交流・情報交換、居場所づくりを目的として開催。	3:養育者及び乳幼児		子育て中の親同士の交流・居場所作りを目的として開催(年2～3回を目標) 子育て支援団体等とも連携することにより、支援の輪が広がるように開催していく。 次年度以降も継続して実施できるよう、関係団体等とも連携し検討を行っていく。	1	200
9	スマホ教室	令和3年～	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域のニーズを把握し前年度から地元の企業の協力を仰ぎ開催し、今年度は新たにリビングラボと連携し実施。	1:高齢者		10月～合計10回(土曜日) 時間 10時～12時:13時30分～15時30分 場所 原宿地域ケアプラザ スマホの普及が進み様々な情報を収集できるようになってきているが、うまく活用できている方も少ない。次年度も引き続き実施し、今年度参加された方へのフォローアップや新受講生への講師補助となってもらえるよう働きかけを行っていく予定。	10	114
10	父親育児支援講座	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ダブルケアの周知事業として実施。父親が育児に参加することの必要性、大切性を知っていただくことを目的として開催	3:養育者及び乳幼児		父親の育児参加を促すため、子育てははじめの一步講座として実施。体を使った遊びと後半はパパ同士で座談会を行い情報共有を行った。昨年度は緊急事態宣言発出の為中止したため、今年度はまん延防止等重点措置発出中であったが、オンライン(ICT)にて実施。	1	10

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
11	生活支援体制整備事業協議体	平成28年度～	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	①多様な主体間の情報共有、連携体制の構築 ②地域情報や課題の把握 ③地域づくりにおける意識の統一 ④新たなサービス創出	1:高齢者	5	実施時期:年2回程度 内容:地域の強みや地域住民が関心を持つことができ、集まりやすいテーマ等のグループワーク。サービス創出に向けた意見交換。	6	64
12	ボランティア情報交換会	平成29年度～	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ボランティア活動についての情報交換や共有を行なうことを目的とする。(活動の継続や新たな活動に結び付けられる機会づくり。活動の悩み等を報告できる機会となっている。)	1:高齢者	5	実施時期:年3回程度 ①参加者の活動報告や活動しているの悩みや困りごとの共有。 ②新たな活動の場や機会を見出し、ネットワーク構築を行う。	3	17
13	よこはまシニアボランティアポイント事業登録研修会	平成28年度～	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ボランティア活動を行うことにより、ご本人の健康維持と介護予防、社会参加・地域貢献を通じた「生きがいづくり」と介護施設等の地域とのつながりの深まりや施設利用者の生活をより豊かにすることを目的とする。	1:高齢者	5	実施時期:年1回程度 内容:よこはまシニアボランティアポイント事業登録研修会と地域の高齢者福祉施設を招き事業所紹介(ボランティア募集について)を実施。	0	0
14	生活支援交流会・居宅介護支援事業所連絡会	平成28年度～	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	様々な主体による多様な支援の活動報告や介護予防・生活支援の充実した地域づくりのための情報提供、ケアマネジャー同士の関係構築、介護保険制度や社会福祉資源の情報共有等を行う。	6:事業者	5	実施時期:年2回程度 内容:インフォーマルサービスや横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業等の情報提供、ケアマネジャー向け研修会の開催。民生委員の研修会も同時開催。	1	18
15	知っ得講座	平成30年度～	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	介護保険申請やケアマネジャーの役割、福祉用具や住宅改修等についての講座を実施し、住み慣れた地域より安心した老後を迎えることができるような情報を周知していく。	1:高齢者	5	実施時期:年2回程度 内容:包括支援センター職員による介護保険制度の周知及び福祉用具の事業所による住宅改修、成年後見制度等の説明。	0	0
16	終活講座	令和2年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	終活講座を行うことで、安心して生活ができるような情報を発信していく。	1:高齢者	5	実施時期:年2回程度 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:生前整理・相続等	0	0
17	携帯電話講座	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域住民を対象にスマートフォンの基本的な使い方(カメラやメール等)について講座を行い、子どもや孫世代とのコミュニケーションツールとなるように情報発信していく。	1:高齢者	5	実施時:年2回程度 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:スマートフォンの使い方講座等	0	0
18	森のカフェこすずめ	令和元年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	小雀町の現在の活動に加え、今まで実施していなかったカフェを行い、地域活動に参加されていなかった方々の掘り起こしを行う。	5:地域	1	実施日:原則第3金曜日 時間:14時～16時 場所:小雀町内会館 内容:どなたでも参加できる地域向けのカフェ	2	22
19	お医者さんとの上手な話し方	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、病院との関わり(医師等)を含め、地域の方々に周知をしていきたい。	5:地域	1	実施時期:年1回 内容:お医者さんと上手に話をするコツについての講義。	0	0
20	楽しくトレーニングしよう会	平成21年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	エリアの保健活動推進員と共催で「浜ちゃん体操」や「ハマトレ」「脳トレ」などを実施し、介護予防の普及啓発と体操等に従事するボランティアの育成を行う。	1:高齢者	1	日程:4月～3月(月1回日曜日) 時間:10時～11時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:体操・脳トレ	7	92
21	原宿コグニサイズの会	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症予防教室を地域高齢者のグループと共催で開催することで、仲間づくりや社会参加を促進し、認知症予防にもつながる。	1:高齢者	1	日程:4月～3月(月1回土曜日) 時間:10時～11時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:コグニサイズ・健康体操等	8	171
22	健康講座	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症についてや疾病予防のための知識を得てもらうことで、健康や介護予防への関心を高めもらえるよう普及啓発を行う。	1:高齢者	1	日程:年1回 時間:13時30分～14時30分 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:協力医による健康講座	1	24
23	認知症予防音楽療法	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域高齢者を対象に認知症予防を目的とした講座を開催する。	1:高齢者	1	日程:年1回 時間:10時30分～11時30分 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:音楽療法士による歌やリズム、回想法を用いた認知症予防講座	1	25
24	エンディングノート	令和2年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	エンディングノートの概要を理解し、実際に書いてみることで、自身の将来への備えを考えてもらうきっかけとする。(戸塚区版エンディングノートをもとに講座開催)	1:高齢者	5	日程:年1回(2日間) 時間:13時30分～15時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:戸塚区版エンディングノートをもとに講座開催を予定	0	0
25	成年後見制度	平成25年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	成年後見制度の概要、同制度を利用することのメリット・デメリットを高齢者および事業所担当者に広く周知する。			日程:年1回 時間:13時30分～15時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:成年後見制度の普及に力を入れている専門職に講師を依頼し、講座を開催予定	0	0
26	よつばの会	平成20年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	介護者の集いである「よつばの会」で、会員の要望を反映したテーマで講習会を年1回開催し、介護や日常生活のなかで役立ててもらう。	1:高齢者		日程:年1回(10月) 時間:13時30分～15時 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:司法書士を講師に招き、認知症対策の一環として成年後見制度や家族信託の講座を開催した。	1	8
27	GOGO体操	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	令和2年度に実施した介護予防事業のOB会として新たに立ち上がった介護予防活動グループ。会との共催により安定的に開催し介護予防活動に取り組めるようにする。	1:高齢者		日程:毎月2回 火曜日 時間:①12:45～14:15、②14:30～16:00 コロナ対策のため2部制にて実施中 場所:原宿地域ケアプラザ 内容:健康体操	22	552